

物流における環境負荷削減

物流における環境負荷削減(富士フィルムロジスティックスの取り組み)

富士フィルムグループの物流を担当している富士フィルムロジスティックスでは、社外に委託している輸送業務を重要な環境側面の一つとしてとらえ、排ガス削減に積極的に取り組んでいます。

2001年度は前年度に構築した排ガス排出量把握のための集計システムの精度を向上させCO₂、NO_x、PM (Particulate Matter：粒子状物質)を把握しました。

輸送効率改善によるCO₂排出量削減は

- ・天然ガス車の導入
 - ・積載効率向上による車両台数の削減
 - ・配送ルート集約による車両台数の削減
- などの施策を実施したことによるものです。

CO ₂ 総排出量(千トン・CO ₂ /年)	20
NO _x 排出量(トン/年)	156
PM排出量(トン/年)	12
輸送効率改善によるCO ₂ 排出削減量(対前年度)(トン・CO ₂ /年)	116
輸送効率改善によるNO _x 排出削減量(対前年度)(トン/年)	1
輸送効率改善によるPM排出削減量(対前年度)(トン/年)	0.1

海外工場向けカラーペーパー原反(バルクロール)の輸送包装材料の国際リユース化

インド、オーストラリア向けのカラープリント用印画紙(カラーペーパー)は、バルクロールで輸出し、海外現地の工場ですリット、加工されて最終製品となります。

バルクロールは富士フィルム足柄工場から富士フィルムロジスティックスの包装センター(南足柄市)に搬入され、専用パレットに固定されたうえで、海上コンテナに詰められ海外に輸送されます。

この時、バルクロールは下図に示すように縦積みになされ、パレットも丸形の特種なものを使用しています。これは海上コンテ

ナの積載効率を高めるために独自に工夫された輸送方式です。

海外現地の工場で、加工前に外された日本からのパレット、ボルトは日本に送り返されて再使用されています。

カラーペーパーのほかにも、一般用カラーフィルムや印刷製版用フィルムのバルクロール、その他の原材料などの輸送包装材料が再使用されています。これによって、限られた資源の有効活用を図るだけでなく、コスト削減の面でも大きな効果をあげています。

